

発表

清田区役所周辺地区

まちづくり構想



「清田区役所周辺地区まちづくり委員会」が作成した「まちづくり構想」。今月は、この概要をお知らせします。

※ このイラストはイメージであり、確定した計画ではありません。

「清田区役所周辺地区まちづくり構想」とは？

平成十一年五月、清田区役所周辺地区の在り方について検討するため、地域住民や企業などが中心となって、「清田区役所周辺地区まちづくり委員会」が設立されました。同委員会では、ワークショップやアンケートなどで、住民から意見を聞きながら、地域の将来の望ましい姿について検討を重ねてきました。このほど、その成果が「清田区役所周辺地区まちづくり構想」としてまとめられ、四月十九日の説明会で、参加した区民に報告されました。

清田区役所周辺地区の五つの将来イメージ

この構想では、清田区役所周辺地区のまちづくりのキーワードとして、左の五つのイメージを設定した上で、地区

五つのイメージ

- 1 歩いて楽しいまち
- 2 便利で賑わいのあるまち
- 3 川や緑を守り育てるまち
- 4 歴史や文化を守り育てるまち
- 5 潤いやのどかさのあるまち



この構想の詳細は、区役所で配布しているパンフレットか、清田区役所公式Webサイト「ぎよたFan倶楽部」でご覧になれます。

今回提案された構想は、具体的な計画ではありません。同委員会が提案する、地域住民、企業、行政が共有すべき「まちづくりの長期的な目標となるイメージ」です。今後この構想を基に、三者がさらに議論を深めながら、より具体的なまちづくりの方策を考えていくことが必要です。

まちづくり構想を具体化するために

育てる役割を担ってきました。ゾーンの外側にある自然や歴史、文化資源と有機的なつながりを持たせ、自然・文化体験などの活動ができる場として発展させます。

区役所周辺ゾーン

道道真駒内御料札幌線を中心とした旧国道から国道36号

ら区役所第二駐車場辺りまでのゾーン。ここは、古くから

を三つのゾーンに分け、それぞれのゾーンごとに、次の通りまちづくりに必要な視点を提案しています。

の間の、多様な都市機能が集中する、地域の中心となるゾーン。交通・行政・商業の拠点としての機能を持たせるとともに、潤いや安らぎを兼ね備えた、調和のとれたゾーンとして発展させます。

三つのゾーンとまちづくりの提案概要

旧道ゾーン

旧国道に沿った、厚別川から

水と緑のゾーン

清田緑地や厚別川を中心とした緑地から、厚別川に至る自然資源が集中するゾーン

地域の生活を支えてきた場所です。景観に配慮し、さまざまな市民活動や交流ができる空間を設けながら、五つのイメージの一つ、「歩いて楽しいまち」を体感できる場所として、まちづくりを行います。